

内閣府 次世代医療基盤法シンポジウム「ビッグデータが生み出す“明日の健康・医療・介護”」 ～次世代医療基盤法が目指す世界と市民と行政にとっての意義～

- 地方公共団体・教育委員会事務局関係者の皆様を対象に、次世代医療基盤法への理解を深めていただけるよう、シンポジウムを開催した。300名近い申し込みにより盛況の結果を受け、追加で3月10日から3月末にかけてシンポジウム動画の配信を実施した。

開催概要

主催：内閣府 日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室
対象：地方公共団体・教育委員会事務局担当者
日時：令和3年2月19日（金）14：00～16：35
開催方法：オンライン

プログラム

開会挨拶

内閣府日本医療研究開発機構 医療情報基盤担当室 室長 八神敦雄

講演1 次世代医療基盤法の説明

講演者 内閣府 日本医療研究開発機構 医療情報基盤担当室 参事官 田中謙一
講演概要： 次世代医療基盤法の全体像
地方公共団体や学校からの情報取得及び通知事務について
地方公共団体等向けの支援ツールの紹介（動画・ポスター・リーフレット等）

講演2 認定事業者の取組説明

講演者① 一般社団法人ライフ・データ・イニシアティブ 代表理事 吉原博幸
講演概要： 収集する医療情報の範囲
提供するサービス内容

講演者② ICI 株式会社代表取締役社長 工藤憲一

講演概要： 医療情報取扱事業者（地方公共団体）向けサービス内容
地方公共団体及び地域医療連携と次世代医療基盤法との連携モデル

講演3 地方公共団体における事例紹介（弘前大学・弘前市）

講演者 青森県弘前市市長 櫻田宏、弘前大学医学部 社会医学講座特任教授 中路重之
講演概要： 弘前市における弘前大学と連携した医療ビッグデータの利活用
岩木健康増進プロジェクトの概要
国保レセプトデータの提供及び弘前市のスタンスについて

講演4 招待講演 スモールなビッグデータが生み出す昨日・今日・明日の健康・医療・介護 弘前COIの試み

講演者 横浜市立大学医学部 健康社会医学ユニット 准教授 五十嵐中
講演概要： 弘前COIの取組による健康リスクの変化
関連するデータの連結による健康増進の経済効果推計



パネルディスカッション

■ 地方公共団体の医療情報活用事例と次世代医療基盤法による更なる展開

・条例等による制約や大量のデータを分析する方法に関する課題等がある中で、認定事業者を活用することで、現状の課題解決につながり、地方公共団体の施策の効果検証等に有用な可能性があることを議論した。

■ 次世代医療基盤法の今後の展開

・次世代医療基盤法を活用し『エビデンスに基づく施策』を進める中で、名寄せしたデータの分析を進めることで、生活習慣病の罹患率や改善指標が明らかになり、住民にフィードバックしていくことが可能になることを議論した。

参加者 弘前市市長 櫻田宏

横浜市立大学医学部健康社会医学ユニット 准教授 五十嵐中

ICI 株式会社代表取締役社長 工藤憲一

一般社団法人ライフデータイニシアティブ代表理事 吉原博幸

モデレータ 内閣府日本医療研究開発機構

医療情報基盤担当室参事官 田中謙一

